第85号　2013年1月25日　　発行人　山下　剛　　編集人　矢嶋宇之

道建労協機関紙

PAVE

Council of Road Construction Worker´s Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会　〒104-8380　東京都中央区京橋1-19-11（NIPPO 労働組合内）　電話03（3563）6744
URL.http://www.doukenroukyou.com

2013年 年頭挨拶

道建労協加盟単組の組合員の皆さまならびにご家族の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

新春をご家族の皆さまと共に明るくお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、ロンドンオリンピックでは史上最多の38個のメダル獲得など日本選手の活躍が国民に多くの感動と勇気を与えてくれました。また、政治の世界では「近いうちに・・・」から３ヶ月が経過した11月に突如衆議院を解散し、29年ぶりに師走の総選挙が行われました。第三局など政党が乱立した結果、自民党が圧勝し、安倍総裁が２度目の総理に就任しました。

我々の建設産業は、震災の被災地では復興に向け非常に忙しく、総じて東日本地域では工事量も多くなっていますが、西日本地域では厳しい状態が続き、地域間格差が更に拡大しています。民間設備投資も欧州危機や記録的な円高の長期化、中国では尖閣諸島の国有化を機に日本製品の不買運動なども広がり、日本経済は停滞感を増し、民間設備投資は回復の動きが弱く厳しい環境が続いております。

2013年も引き続き東日本大震災の復興工事が継続する事が予想されます。また、「コンクリートから人へ」をスローガンとし、公共投資削減の流れが強かった前民主党政権から新政権がどのような政策を取るのか注目され、公共投資は強めの動きが見込まれるものの、民間設備投資は弱含みで推移するなど、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような環境下、私たち道建労協では、道路建設産業で働く仲間の労働環境改善に向けた取り組みとして土曜閉所推進運動等に取り組んできました。アンケート結果で最も多くの意見が寄せられた「業界全体での取り組み」に向け、単組ではなかなか働きかけが難しい業界関係団体である日本道路建設業協会（道建協）や日本アスファルト合材協会（日合協）等に土曜閉所強調月間への協力要請を毎回実施してきました。特に昨年は「人材確保等に関する基本方針」等で労働環境改善への取り組み強化が、関係団体から相次いで発信されました。アンケートに回答いただいた皆さんの要望がこの方針に影響していると考えています。現業の閉所率、休日取得率ともなかなか進展していないのが現状ではありますが、関係団体の取り組み強化は我々にとっても大きな第一歩であると捉えています。今後も建設産労懇とも一緒に継続して取り組み、建設産業における長時間労働の改善に対する障害要因を発見し、それを取り除きながら、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて共に進んでいきましょう。

本年も私達は「モノづくりを通じて社会に貢献し、魅力ある道路建設産業を実現する」ために活動を進めていきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が道建労協加盟単組組合員の皆様にとって充実感溢れる年となりますことを心からお祈りし、年頭の挨拶とさせていただきます。

道建労協　議長　山下　剛

フリーウェイ

「メイクミラクル」

これまで野球は日本人気質にマッチしたスポーツだと言われてきた。心理学者によると、その理由は時間制限がなく、９回裏からでも逆転するかもしれないという楽しみを最後まで保証し、ミラクルへの期待を最後まで持ち続けられるからだそうだ。しかし近年はＪリーグのみならず、高校からなでしこまでサッカー人気の過熱が著しい。サッカーの場合、点差が開いたままロスタイムに突入すれば追いつくことはあれ、なかなか逆転は難しい。ということは、日本人の気質は期待が薄いなかでも充分に楽しみを見出すようになったということだろうか。そう考えると、何だか小ぢんまりとして寂しい感も。

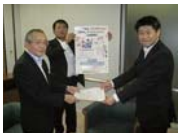
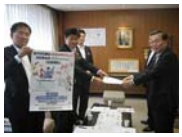
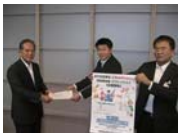
建設業も現状のなかで楽しみを探し出すのではなく、でっかい希望を持って行動したいものである。いつかは統一土曜閉所が実現できるように。

ＮＩＰＰＯ労働組合　有木　秀龍

企業訪問・関係団体訪問

11月土曜閉所強調月間に合わせて、各加盟単組企業や関係団体へ協力要請を行いました。今回は道建協が人材確保に関する基本方針の中で第2土曜日閉所推進を掲げたことから、この運動が業界全体のものになったことはイメージできたのではないでしょうか。各社の社長からも、それぞれの休日取得に向けた方針や施策について説明をいただけましたので、会社として前向きに取り組んでいることが伝わってきました。

今年度からはさらに、日合協も計画的な休日取得の推進を行っていくと発表しています。今後は改めて労使で歩調を合わせた取組みを強化すべく展開していこうと考えています。企業側の努力とともに私たちが出来ることを少しずつでも着実に行っていく必要があります。賞は投げられました。あとは実行していくのみです。

大林道路(株)	大成ロテック(株)	東京舗装工業(株)	(株)ＮＩＰＰＯ	フジタ道路(株)	前田道路(株)
					
三井住建道路(株)	日本道路(株)	道建協	日合協	厚生労働省	

地協のない地域の交流会

四国地区

2012年10月24日(水)高松東急インにて、「四国地区交流会」が開催されました。参加者は、大林道路職組：2名、大成ロテック社組：2名、ＮＩＰＰＯ労組：3名、前田道路労組：4名、三井住建道路労組：2名、本部：3名の総勢16名でした。

まずは11月の土曜閉所強調月間に向けた説明、それに伴う休日写真コンテストの話がありました。その後は地協改革の一環として、地協のない地域の地区連絡会立ち上げについての提案がありました。同じ問題・課題を共有する同業他社の仲間との情報交換などの交流を、年1回の意見交換会の場だけでなく、各単組が労力を負担に思わない程度の範囲で、例えば四半期に一度くらいのペースで設ける、というものでした。いろいろと意見はありましたが、まずはやってみようということから連絡網を作成することとなり、懇親会もその話題で盛り上がりました。

前田道路労働組合　清田　大輔

中国地区

２０１２年10月25日（木）広島のホテルセンチュリー21にて「中国地区交流会」が開催されました。

５単組14名が参加、また、道建労協本部より山下議長、高島副議長、服部事務局長に参加いただき、活発な意見交換が行われました。

土曜閉所強調月間の取り組み、時短・休日取得について、人員の配置、若い社員の離職率の増加など、各単組の抱える問題点について意見を出し合い、今後の解決策の糸口となるよう意見交換を行いました。

また、懇親会では、普段触れ合うことのない各単組同士でいろいろな意見を交換し、懇親を深めました。

ＮＩＰＰＯ労働組合　山口　高史

九州地区

2012年10月26日（金）福岡市内のＩＰホテル福岡にて「九州地区交流会」が開催されました。

交流会では、主に土曜閉所推進に向けた課題や今後の方策等について、また各単組での時短に対する取り組み状況、地域特有の問題点（若年職員の問題など）についての意見交換を行いました。九州地区においては、若年職員の配置が少ない事についてどこの単組でも同様の状況にあり、今後の共通課題であると感じました。

なお、会議終了後の懇親会では和やかな雰囲気のもと各単組の方々との交流を深める事が出来、非常に有意義な交流会であったと思います。

大林道路職員組合　畑　大輔

地協活動報告

関西地協

定期大会及びレクリエーション開催

2012年9月13日（木）「エル・おおさか」で第23回関西地協定期総会を開催し、各単組代議員へ活動報告や収支報告、来期の活動方針の承認などを行いました。本部からは山下議長にご出席いただきました。この一年間は相変わらず厳しい環境の中での活動となりましたが、こうした環境だからこそレクを中心として楽しく活動できるように努めてきました。今年度は更に幹事会などで活発に意見交換を行い、各加盟単組と組合員が交流を深め、ともに発展できることを目標にして、活動してまいります。ご協力の程よろしくお願い致します。

ボーリング大会やソフトボール大会などのレクは、既に恒例行事となっています。予算的には厳しいのですが、他単組の方と楽しく交流できる場でもありますので、今後も継続していくために知恵を絞って企画していきます。皆さんのご参加をお待ちしています。

関西地協　事務局長　池永 洋輔（前田道路労働組合）

北海道地協

2012年10月12日（金）ノボテル札幌にて、北海道地協の定期大会が開催されました。加盟５単組（NIPPO、前田、大成、大林、三井住建）23名、に加え、本部から服部事務局長に出席していただきました。この大会をもって地島議長（三井住建）が任期を終えられ、今井議長（前田）が新任されました。

東日本大震災の影響や、北海道組合員の高齢化・減少などについて実りある議論がなされ、議事については全て満場一致で可決承認されました。大会終了後の懇親会ではビンゴゲームで大いに盛り上がり、今後も加盟単組の交流を深め、情報交換をはかっていくことを確認致しました。今後の活動として、恒例行事である単組対抗ボーリング大会を予定しております。　北海道地協　事務局長　大星　勇介（ＮＩＰＰＯ労働組合）

関東地協

定期大会及びレクリエーション開催

2012年10月13日（土）新宿区高田馬場シチズンプラザにおいて、第23回関東地協定期大会を来賓として本部より高島副議長を招き開催し、各単組代議員へ活動報告等を行いました。今年度は役員改選に伴い、例年より若い世代の役員が多く選出されました。これまでの活動を継続しつつ、若い力を存分に発揮し、昨年度以上に地協及び各単組の活性化に付与していきたいと考えております。ご協力の程よろしくお願い致します。

大会終了後、恒例となりましたボウリング大会を開催し、みなさん仕事を忘れゲームに興じていました。親睦会では恒例のビンゴゲームで大いに盛り上がり、単組の枠を越えて交流を深める場となりました。

限られた予算ではありますが、今後とも活発な活動を計画しておりますので、皆様もご参加の程よろしくお願い致します。

関東地協　議長　猪原　寛（ＮＩＰＰＯ労働組合）

中部地協

2012年10月29日（月）大林道路株式会社中部支店会議室にて、中部地方協議会の第２３回定期大会が開催されました。

加盟６単組（NIPPO、前田、大成、大林、三井住建、フジタ道路）１１名、に加え、本部からは高島副議長に出席して頂きました。

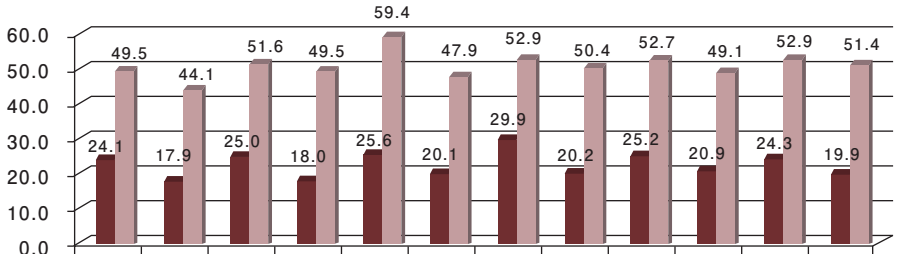
本来、各単組の組合員を招いて開催すべきところでしたが、業務都合により今回は幹部のみで定期大会を開催致しました。来期活動方針議事については全て満場一致で可決・承認されました。

大会終了後の懇親会では互いの交流を深め、今後の方針を語り合いました。近年、中部地協としてイベントの開催が停滞しているため、来期はイベントの開催を実現すべく今後も議論をしていくことを確認し合いました。今後は幹事会を定期的に開催し、各単組のニーズ、職場で抱えている問題点等の情報交換を主に議論を行い、中部地協の活動が今まで以上に活発になるよう活動していく予定です。　中部地協　事務局長　中村　俊樹（ＮＩＰＰＯ労働組合）

土曜閉所率・休日取得率の推移

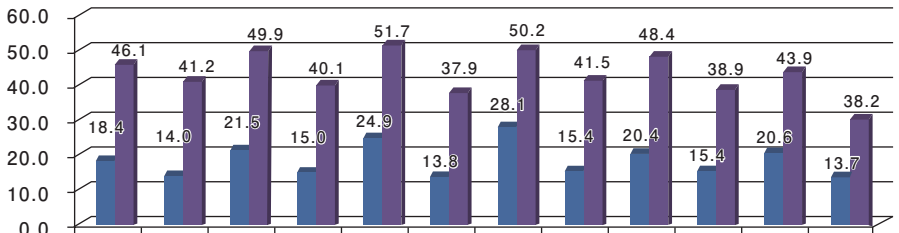
※2012年11月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行いたします。

全体



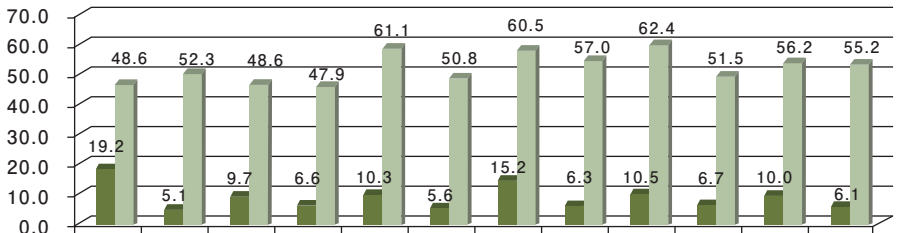
	07年 6月	07年 11月	08年 6月	08年 11月	09年 6月	09年 11月	10年 6月	10年 11月	11年 6月	11年 11月	12年 6月	12年 11月
■閉所率	24.1	17.9	25.0	18.0	25.6	20.1	29.9	20.2	25.2	20.9	24.3	19.9
■休日取得率	49.5	44.1	51.6	49.5	59.4	47.9	52.9	50.4	52.7	49.1	52.9	51.4

工事部門



	07年 6月	07年 11月	08年 6月	08年 11月	09年 6月	09年 11月	10年 6月	10年 11月	11年 6月	11年 11月	12年 6月	12年 11月
■閉所率	18.4	14.0	21.5	15.0	24.9	13.8	28.1	15.4	20.4	15.4	20.6	13.7
■休日取得率	46.1	41.2	49.9	40.1	51.7	37.9	50.2	41.5	48.4	38.9	43.9	38.2

製品部門



	07年 6月	07年 11月	08年 6月	08年 11月	09年 6月	09年 11月	10年 6月	10年 11月	11年 6月	11年 11月	12年 6月	12年 11月
■閉所率	19.2	5.1	9.7	6.6	10.3	5.6	15.2	6.3	10.5	6.7	10.0	6.1
■休日取得率	48.6	52.3	48.6	47.9	61.1	50.8	60.5	57.0	62.4	51.5	56.2	55.2

物知りクイズ

皆さん、寒さで背中が丸まっていませんか。キラキラしたクリスマスと飲んで食べてのお正月が終わってしまえば、あと2、3ヶ月は寒いだけの日々に耐えなければ…と憂鬱な気分になりがちなこのシーズン、こたつの中に入って春になるのを待つだけではもったいない！　この時期にしかできないウインタースポーツで冬を満喫してみませんか。

というわけで、今回のテーマは「ウインタースポーツ」です。

Q1　ウインタースポーツの代名詞といえばスキーですが、スキー人口は1993年に1,860万人となりピークを迎えました。1987年に公開された映画「私をスキーに連れてって」がスキーブーム到来のきっかけとなりましたが、この映画の舞台となったスキー場はどこでしょうか。

① 安比高原スキー場　② 苗場スキー場　③ 万座温泉スキー場　④ ガーラ湯沢スキー場

Q2　豪快なエアや多彩なトリックが魅力のスノーボードですが、スノーボード競技がオリンピックの正式種目に採用された時の開催都市はどこでしょうか。

① カルガリー　② トリノ　③ 長野　④ ソルトレイクシティ

Q3　またまた映画にちなんだ問題です。「氷上のＦ１」と呼ばれているボブスレーですが、ジャマイカのボブスレーチームがカルガリーオリンピックで立てた功績を元にして制作された映画のタイトルは何でしょうか。

① グラウンブルー　② ミラクル　③ アイスキャッスル　④ クール・ランニング

Q4　殆どのウインタースポーツが外国生まれですが、日本発祥のものに「雪合戦」があります。国際大会も開催されておりスポーツ競技の雪合戦には明確なルールが定められています。それではここで問題です。この日本発祥の「雪合戦」はひとチーム何人で競技するでしょうか。

① ５人　②７人　③ ９人　④ 11人

〈応募方法〉
下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- **●解答**
- **●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）**
- **●氏名　●所属単組名**
- **●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。**
- **●締め切り　2／28（木）**
- **●宛先　〒141-8665**
  東京都品川区大崎1-11-3　前田道路労働組合内
  道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛
  FAX　03-5487-0051　E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は9月発行の予定です。

■ 物知りクイズ当選者

正解の人、実は一人だけ！

当選者
松島　良和さん（大林道路職員組合）

◆◆ 組合員からのご意見（一部を掲載）

・体調を崩さないように気を付けて下さい。

編◦集◦後◦記

年末年始には実家の名古屋まで車で毎年帰省しておりますが、今年は例年に比較すると渋滞が少なかったように感じました。やはり第二東名の威力は絶大な様です。

民主党政権時代に高速道路千円というのがあったと思いますが、あの頃は特に渋滞がひどい状況でした。帰りなどは、夜22時に名古屋を出発して翌日の昼14時過ぎに茨城に到着していました。睡眠時間や休憩時間を除く実質の運転時間は約13時間、通常の３倍近くの時間がかかりました。正直言って、あの頃は車で帰省するのがかなりつらかったです。

勿論、あの当時には第二東名が出来ていなかった頃でしたから余計に時間がかかりましたが、今は特に第二東名がある区間（主に静岡県内）は渋滞もほぼありませんし、第二東名自体が非常に走りやすい構造となっております。

こうやってみると、「道路のインフラ整備」というのは重要であると改めて感じた次第であります。

（大林道路職員組合　高島　力）